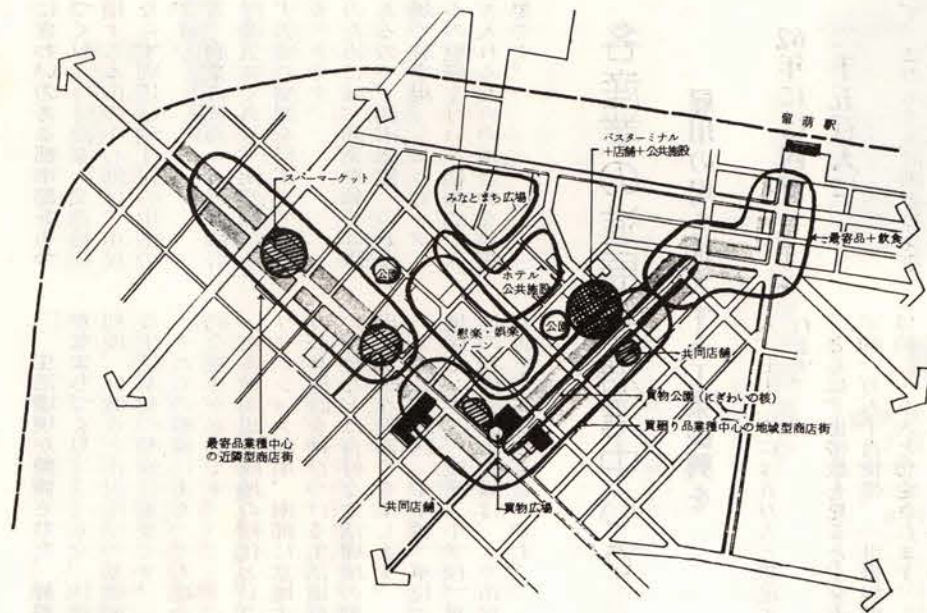


(イ)再開発による公開空地と広場の創出。  
 (ロ)利便性の確保 (ア)駐車場の整備  
 (イ)商店街とバスターミナルの再整備  
 (ウ)ターミナル・スーパー・公共施設とのドッキングによる拠点開発。

中心地の魅力向上 (ア)買物公園買物広場の創出 (イ)商店街機能の多様性、買物公園、みなとまち広場との連携を図る (ウ)ターミナルビル、核店舗の形成、半地下商店街の形成を検討したい。

商店街の性格づけと核店舗



### 港湾のより発展には 輸送体系の整備を



取扱貨物の主流をなす木材

港湾の整備は勿論、本市の都市構造は、海運の流通と密接に関連する産業生産のための用地や道路その他の立地条件の整備を細かく増えなければならない。

増えつつある後背圏の輸送需要に対応して、道路機能の拡大、国鉄貨物輸送の強化など日本海側の地域開発を急ぐ必要がある。

このためには、留萌港と内陸との双方に整備された道路と鉄道が整備されなければならない。

また、次に考えなければならないのが石狩湾新港との関係である。同港は札幌市を後背圏とした輸送体系に主眼が置かれてはいるものの、必ずしも無関係とはいえないものがある。

先にものべた通り、石狩湾新港は、道路等の流通基地としての整備

備が一貫した理論的整備が進められている中で、留萌港もそれ以上の整備計画が、港湾背後に進められなければならない。

将来の主貨物として石炭、木材、石油、セメントが当然に想定されるし、内陸の酪農製品、食品工業あるいは精密機器等の都市型工業の発展とともに、それらの品目の扱い増、コンテナやフェリー等の輸送が考えられる。

さらに、北方圏からの原材料輸入と加工製品の輸出を考える必要がある。

また、主要貨物として、石炭のコールセンターの整備、原木についても、木材生産地を控え、その立地可能性は大きくなるものと考えられる。

### 自然を生かした 土地の拡大を

将来の市街地は、土地の有効利用、上下水道、道路、公園などの合理的都市基盤施設の整備を考えると、できるだけコンパクトにすることが望ましいが、これまでの形成過程等を考えると、住宅用地内の平均人口密度は、およそ六〇人/haするのが適当であろう。

したがって、六十二年の市街地人口が三九・七〇〇人とする、住宅面積として約六六〇haとなり現在の五〇一・四haに対して、今後約一六〇haの用地が必要となる。さらに商業、業務用地としても人口を四二・五〇〇人(62年)と想定し、商店数、面積などの施設分布を検討すると、現用途地域面積程度の約五五haが必要となろう。

また、工業用地としては、港湾関連用地として現用地七〇haに、塩見、三泊地区の拡張約九〇haを見込んで約一六〇haを想定する。その他の用地としても、新規に約七〇haは必要となる。

また、既存工場の受け皿として堀川町地区に約二五haを見込む。

「街路緑化」  
街路樹にそって、不ぞろいな建物の正面をかくし、特色ある街路景観、道路の方向性、住区割りを

構成する。  
樹種には、アカシア、プラタナス、ナナカマド、ポプラ、マツの他、イチヨウ、トチノキ、ヤナギヤチダモ、サクラ等を考え、デザイン要素として樹木による演出を

### 港を核として都市型観光への転進を

快速艇やフェリーの就航を

留萌市は、広域観光ルートの中 心として、暑寒別・天売焼尻の両

「公園・広場の整備」  
児童公園等の植樹が課題となるが既存樹木は、それを取り込む必要がある。

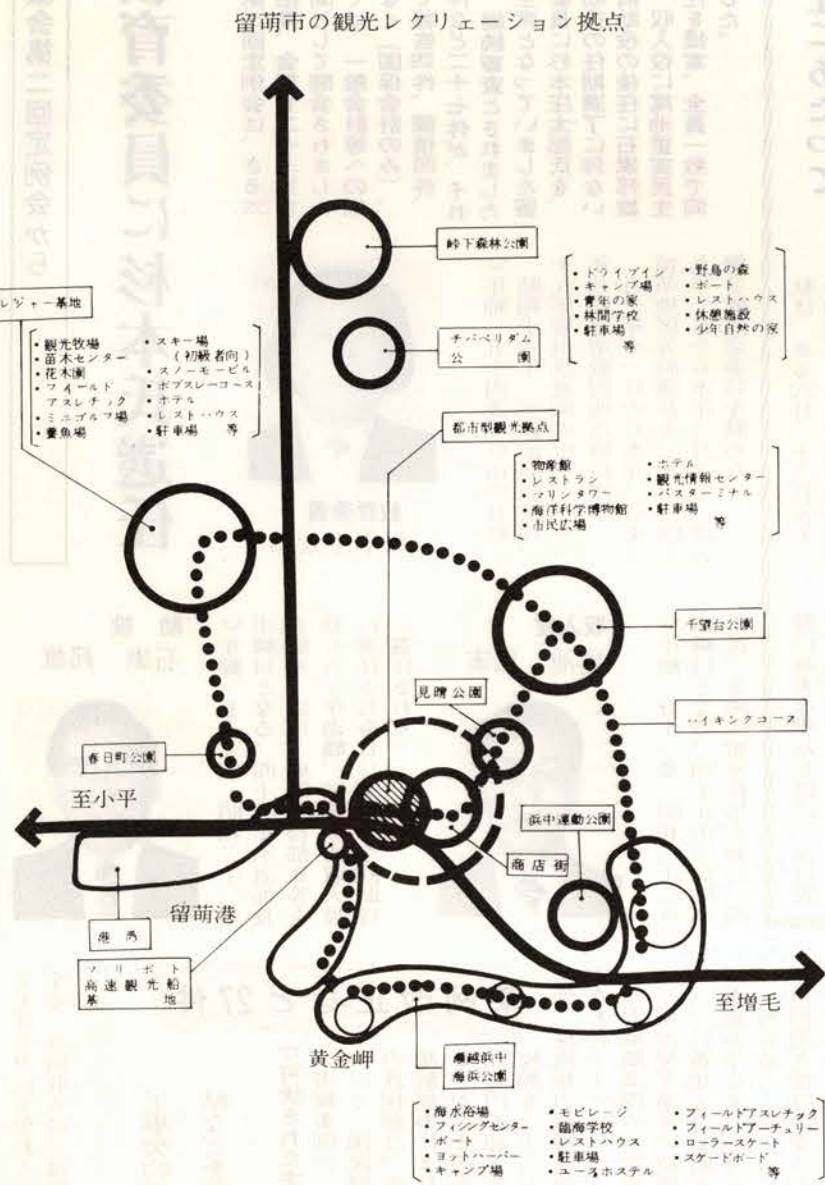
道立自然公園の中心地として、旭川、空知管内の内陸に対する臨海型観光レクリエーション地域である。

さらに、国道二三一号線の開通に伴ない、札幌から稚内にかけての日本海側観光ルートの一環として重要な役割を持つ。

特に、交通網の結節点として重要であり、海浜型観光、商店街飲

食店街の充実、さらに港湾を利用した快速遊覧船やフェリーボート基地に適し、その観光価値は高い。

「レクリエーション機能の充実」



生活拠点を緑でつなぎレクリエーション機能を高める。  
 みなとまち広場  
 この広場は、現在市に存在しないが、副港西岸の大規模工場を将来、港湾計画と併せ移転、中央児童公園と一体にして「みなとまち広場」を整備し、水と緑のある都心の広場として再生させる。  
 ショッピングプロムナード  
 公共施設帯・商店街・みなとまち広場を結ぶ。  
 市民の森  
 公共施設と高砂近隣公園、留萌川河川敷を結ぶ。  
 港の見える遊歩道  
 みなとまち広場から南岸地区、湊神社、南防波堤を結ぶ。  
 瀬越浜サイクリングロード  
 公共施設の端は瀬越浜で結ばれ、黄金岬、浜中海岸へと結ぶ。  
 留萌川サイクリングロード  
 港北小、北港中から留萌川築堤に沿って潮静へ至る。  
 千望台、浜中ハイキングコース  
 千望台、浜中運動公園を経て、浜中海岸へ至る。  
 市営牧場自然散策道路  
 春日町から春日高台、市営牧場、東雲閣温泉、留萌高校を結ぶ。